

# 2022年度の コンソーシアム (CONSEO) 活動について

---

2022年9月7日

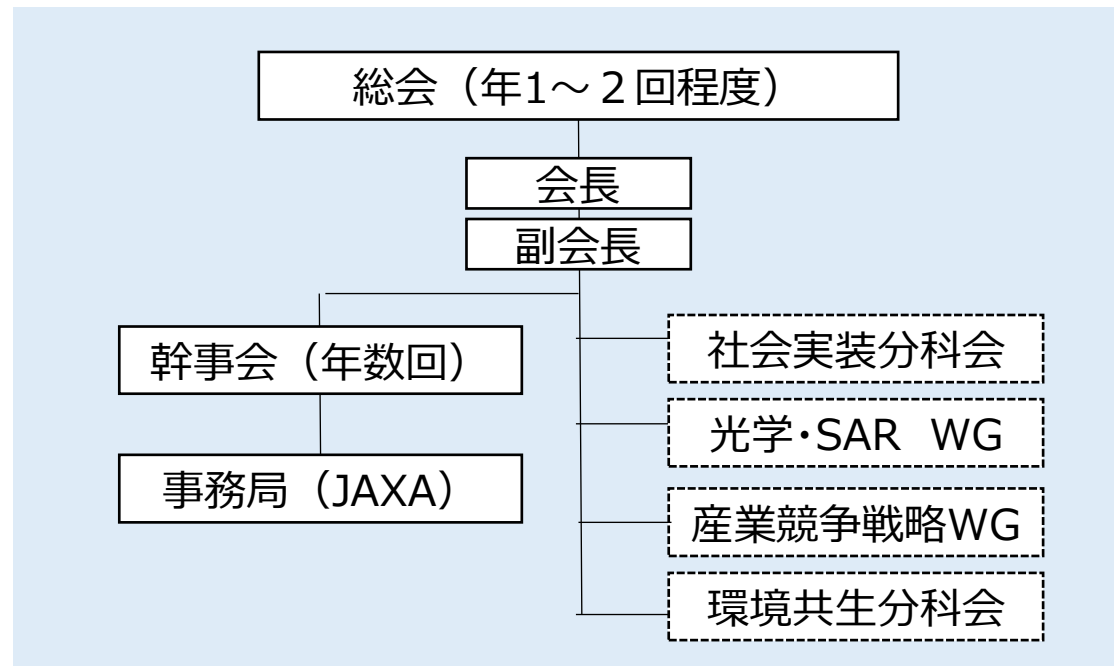
衛星地球観測コンソーシアム事務局 平林毅

# 1. CONSEOの概要

## (目的)

第3条 宇宙基本計画（令和2年6月30日 閣議決定）記載の「衛星開発・実証プラットフォームの構築」に資するため、地球観測衛星の利用者や出資者を含めた**産学官が主体**となり、社会実装、競争力の強化に向けた**地球観測分野の全体戦略等にかかる提言**（以下「提言」という。）を検討・策定し、**衛星開発・実証及びデータ利用に関する共創並びに新規参入の促進**に取り組むことを目的とする。

## (コンソーシアムの組織図)



## コンソーシアムにおける活動内容

1. 観測分野の全体戦略に関する考え方(提言)等の検討・策定
2. 産学官連携推進のための取組

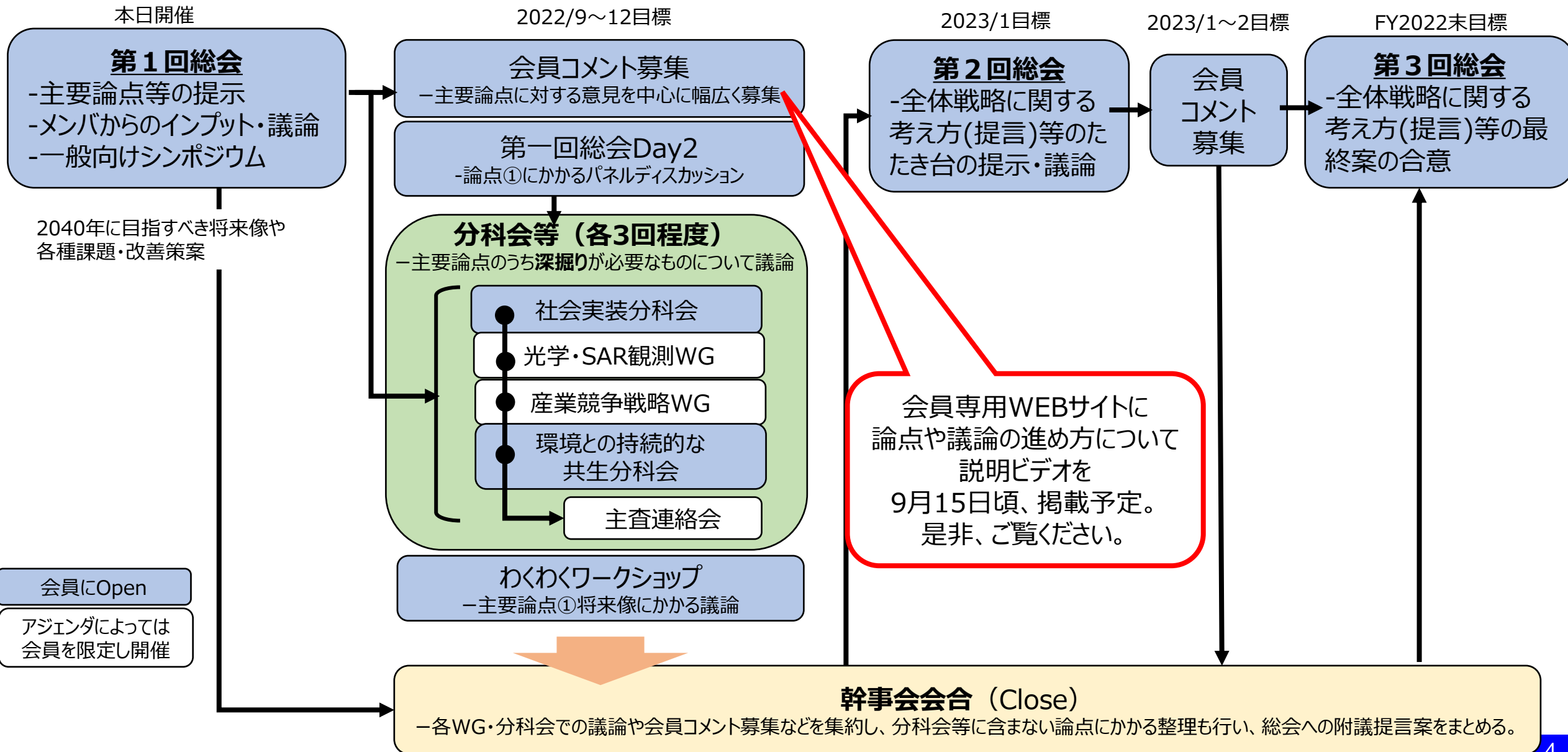
特に、1年目は、全体戦略に関する考えを提言としてまとめることに注力したい。

## 2. 2022年度の活動方針

- CONSEOの活動は、①観測分野の全体戦略に関する考え方(提言)等の検討・策定し、②産学官連携推進のための取組を検討する。
- 衛星地球観測が目指す方向性や将来像について産学官で共通の目標を見出すとともに、社会実装や産業競争にかかる課題や解決策を提言としてまとめることで、今後の産学官連携推進の取り組みの具体化を行いたい。そのため、2022年度は、提言をまとめることに注力する。
- 意見収集や議論の場：総会、会員コメント募集、分科会、ワーキンググループ、ワークショップ等
- 具体的な2022年度の活動計画
  1. 論点にかかる会員コメント募集の実施
  2. 分科会、ワーキンググループの設立について  
9月29日開催の幹事会にて設立の承認を行い、10月以降、これらの活動を開始する計画です。  
参加募集はWEBサイトで行いますので、ご参加希望の分科会・WGについてお申し込みください。
  3. 設立総会Day2イベントについて
  4. 広報活動について

# 3. 提言のまとめに向けた議論の進め方

## 総会・分科会(Open)、WG (Close)



## 4. 論点にかかる第1回会員コメント募集の実施について

- 衛星地球観測コンソーシアムにおける産学官による**議論の方向性**として以下を検討中。ここに含まれないものに対するご意見も含め、コンソーシアムにおいて重点的に会員で議論すべきと考える**論点、課題意識、戦略・施策案**など、幅広いご意見を伺いたい。

**論点 1 : 目指すべき将来像・衛星地球観測を推進すべき理由**

**論点 2 : 社会実装・利用拡大における課題と対策**

**論点 3 : 新規ビジネス創出・産業基盤維持のための課題と対策**

**論点 4 : 衛星開発実証・基盤研究開発のあり方、官民や大型・小型衛星のベストミックス**

**論点 5 : 戦略的・総合的な観測プログラムのあり方**

- **主要論点にかかる会員コメント募集**について

実施期間：2022年9月26日～10月17日

実施方式：WEB 会員サイト

対象：法人・団体会員、有識者会員、オブザーバ、アドバイザー

# 5. 分科会・WGの開催について

衛星地球観測コンソーシアムにおける産学官による議論の方向性として**主要論点に関連する分科会やWG**を会員向けに計画中。9月半ば以降、CONSEOのWEBサイトにて会員募集します。

## 社会実装分科会（論点2）

主査：白坂成功（慶応義塾大学）副主査：城戸 彩乃（株式会社 sorano me）

（趣旨）我が国の衛星地球観測の社会実装・利用拡大における課題を識別・整理し、課題を解決するために強化すべき施策等の対策案について議論する。

## 光学・SAR観測ワーキンググループ（論点2）

主査：中須賀真一（東京大学）副主査：外岡秀行（茨城大学）  
（趣旨）

- 我が国の官民連携に基づく光学・SAR観測衛星群による観測とその利用について、価値の最大化に向けたあり方について議論する。
- 防災、国土強靱化、ビジネス創出、気候変動対策、農林水産業、(安全保障)等、我が国の官民連携に基づく光学・SAR衛星による観測の利用分野について、社会実装を促進するための課題を識別し、その対策案を議論する。

## 産業競争戦略ワーキンググループ（論点3）

主査：石田真康（A.T. カーニー株式会社）副主査：小畑俊裕（株式会社 Synspective）

（趣旨）観測衛星を活用した新規ビジネスの創出、観測衛星分野の産業基盤維持や産業競争力強化のための課題と対策、目指すべき将来像などを整理し、我が国の衛星観測分野の産業競争戦略について議論する。

## 環境との持続的な共生に向けた科学と産業・公共利用との融合分科会（環境との持続的な共生分科会）（論点2, 3）

主査：早坂教授（東北大学）副主査：中村純一（MS&ADインターリスク総研株式会社）、本郷尚（三井物産戦略研究所）、横山広美（東京大学）  
（趣旨）

- 環境との持続的な共生に向け、気候変動などの地球規模課題・社会課題への対策等、衛星地球観測の目指すべき将来像やそれを実現する科学戦略を産学官で議論する。
- 衛星地球観測による科学成果の産業・公共利用に焦点を当て、その課題と対策案を産学官で議論する。

# 6. 設立総会Day2の開催について

コンソーシアムにおいて重点的に会員で議論すべきと考える論点のうち、特に**目指すべき将来像についての**パネルディスカッションなどを計画しています。

日時：2022年10月12日（水） 13:30 – 17:15

場所：オンライン会合（パネルディスカッションはX-NIHONBASHI TOWER co-working & conference spaceをメイン会場とし配信）

プログラム（案）

## **1330-1445**

◆開会挨拶（角南篤 CONSEO会長）

◆衛星地球観測コンソーシアムが目指す未来と取り組みについて（平林毅 JAXA第一宇宙技術部門衛星利用運用センター長）（10分）

◆基調講演（20分×3本）

➢未来を実装する（馬田隆明 東京大学産学協創推進本部FoundX ディレクター）

➢宇宙から地球を見て感じたこと（油井亀美也 JAXA宇宙飛行士）

➢気候変動対策への貢献に向けた地球観測（三枝信子 国立環境研究所地球システム領域長）

**1445-1500** 途中休憩15分

## **1500-1715**

◆パネルディスカッション（40分×3件、途中休憩10分含む）【パネルの順序については調整中】

➢地球デジタルツイン・メタバースが基盤となる未来

内山裕弥（国土交通省）

佐藤航陽（株式会社スペースデータ）

佐藤正樹（東京大学）

ファシリテータ：村木祐介（JAXA）

➢スマートで持続的な食料生産の未来

上原健一（農林水産省）

桜庭康人（株式会社天地人）

水上陽介（オーシャンソリューションテクノロジー

株式会社）

ファシリテータ：藤原謙（ウミトン株式会社）

➢カーボンクレジットによる持続可能な未来

坪井俊輔（サグリ株式会社）

本郷尚（株式会社三井物産戦略研究所）

調整中

ファシリテータ：武藤正紀（株式会社三菱総

合研究所）

◆閉会挨拶（高薮縁 CONSEO副会長）

# 7. 広報活動について

CONSEOのMission③「**衛星地球観測を推進する機運を醸成するため、その価値を広く社会に発信する。**」こととして、広報活動を計画し実行する。

## 1. WEBサイトの構築：本日、公開。

WEBサイト URL：<https://earth.jaxa.jp/conseo/>

## 2. アンバサダーの就任：

柘太一  
同志社大学  
ハリス理化学研究所 助教



油井亀美也  
JAXA宇宙飛行士

## 3. ワクワクワーク

### ● 地球観測ワクワクワークショップ【計画中、詳細はWEBサイトに掲載予定】

コンソーシアムで活発な産学官連携を推進するために、モチベーション・リーダーシップをもって主体的に活動する参画メンバとともに、「ワクワク」するような観測分野の**将来像、戦略、事業案**について議論する。**みんながワクワクすることで、コンソーシアムを活発にしたい。**

### ● ワクワク投稿WEBサイト【計画中、詳細はWEBサイトに掲載予定】

地球観測のどのような観点にワクワクしているのか、どのようなワクワクする未来を描きたいか、会員個人を対象にコンソーシアムにメッセージを投稿してもらい、Webサイトに掲載。気候変動、ビジネス、技術、研究、等様々な観点で地球観測にワクワクする個人を紹介し、産学官連携の機運を高める